

変わるまち

変われるまち

石巻

**提供：石巻市
2022.11.12**

30年後の課題解決、カギは個人に

グローバルオピニオン(22.09.22 日経)

EBRD元 総 裁 ジャック・アタリ

2050年の世界人口、気象変動、自然環境は、ほぼ正確に予測できる。

一方、技術進歩の未来予測では不確実性が高まり、医療、教育、食糧、水質源の利用、労働組織、地政学的な緊張、紛争の勃発、移民の動向、政治的イデオロギーや宗教的価値観などでは不確実性がさらに高まる。

- 気候 : 南アジア、イラン、クウェート、オマーン、ソマリア、エジプト、エチオピア、ブラジル、メキシコなどでは、猛暑で居住が困難になる。パキスタン、バングラデシュ、英国、オランダも洪水の頻発で住めなくなる。
- 人口 : 現在の79億人から97億人になる。増える18億人の半数は、インド、ナイジェリア、パキスタン、コンゴ、エチオピア、タンザニア、インドネシア、エジプト、米国で誕生し、サハラ砂漠以南の人口は倍増する。世界は平均寿命の延びと少子化によって高齢化し、6人に1人が65歳以上になる。アフリカの人口の半数以上は25歳未満になる一方、日本では65歳以上の割合が37%になる。
- テクノロジー : デジタル技術の急速な発展により全ての職業は大きく変化する。クリーンな水素の製造、核分裂、量子コンピューター、ごみのリサイクル、温暖化ガスの削減、神経科学、ナノテクノロジーなどの分野でも大きな進歩が見込まれる。
- 医療 : 人口器官の開発が大幅に進む。多くの慢性疾患でメッセンジャーRNA(mRNA)などの技術による治療法が見つかる。食生活への配慮、温暖な地域での暮らし、適度な運動などの条件を整えば、平均寿命は100歳を超えるだろう。半面、条件を満たせない人々の平均寿命は、今日の米国のように短くなる。
- 教育 : デジタル技術の発展により、読み、書き、計算、プログラミングは、学ぶ必要がなくなる。神経科学の進歩に伴いゲーム感覚で独学できるようになり、アフリカやインドでは伝統的な学校制度が崩壊、富裕層の子弟向けの私立学校が増える。学校を経ず、まずはインターネット、次にホログラム、仮想空間などを経たデジタル教育が急速に普及する。
- 地政学 : 国家や社会集団間の不平等が拡大し、水など不可欠な天然資源の利用に著しい格差が生じると緊張が高まる。その結果、ウクライナのような地域紛争が続発するかもしれない。特に台湾での紛争、イランや北朝鮮で独裁者の生き残りを賭けた行動が予想される。中国は世界の覇権を握れず、内政に専念せざるをえなくなり、軍事的な賭けに出る。

こうした流れを変えるような世界規模の行動が起こるとは考えにくい。世界政府も、何をなすべきかというコンセンサスも存在しないからだ。とはいえ、衛生、環境、政治に関する問題が続発すれば地球規模でなければ解決できないというコンセンサスができる。

解決のための目標設定は、世界よりも、国、企業、個人のレベルのほうが容易だ。意思決定の主体が小さいほど、また主体の将来への影響が大きいほど、目標設定は簡単になる。

全員が一丸となって「命の経済」を目指すのなら、30年後の未来は明るいだらう。

2050年日本の姿、カギはチャレンジ

国土の長期展望(国土交通省)
未来社会の姿(科学技術振興機構)

現状では、私たちの生活には多くの課題や困難があり、閉塞感も強い。人口は1億人まで減少し、少子高齢化が一段と深刻になる。こうした大変化を乗り越えるには、破壊的なイノベーションによる変革が必要だ。30年先はまだ分からないことも多い。だから高い目標を掲げてチャレンジする。未来に夢や希望を持てることが重要だ。

- 気候 : 自然災害の頻発化、激甚化。温暖化による海面上昇により、湾岸都市の一部が水没危機。
- 人口 : 総人口は、2008年をピークに減少し、2050年には約1億人まで減少する。
生産年齢人口は2191万人減少(2020年7466万人→2050年5275万人)、年少人口も454万人減少(2020年1531万人→2050年1077万人)し、老年人口は223万人増加(2020年3618万人→2050年3841万人)。結果、高齢化率は29%から38%へと大幅に高齢化。
- 食 : 高齢化・過疎化により国内生産力(現行の食料自給率39%)が弱体化。農村・山林の荒廃が進み、水源の涵養や砂防機能など生態系サービス機能が低下。ジャスト・イン・タイムで廃棄ロスを生じさせないグローバル物流・商流システムの確立。
- テクノロジー : インダストリー4.0 やカーボンニュートラルの下で、製造業の競争力が相対的に低下。スマート・グリッドの普及等により、世界最高水準の省エネ技術、資源リサイクル・システムを確立。課題解決型の多様な産業・サービスがグローバル展開。モノ、機器、ビル、インフラが相互接続された「コグニティブ・ネットワーク＝スマート・シティ」が登場。
- 医療 : 高齢化(高齢化率:2020年29%→2050年38%)による社会保障(医療費、年金)の増加が財政圧迫(社会保障費:2020年120兆円→2040年190兆円)。
グローバル化した人の移動等により、新たな感染症リスク(ナイル熱、脳炎等)が増大。予防医療や再生医療技術が確立。
- 教育 : 学校の授業におけるデジタル機器の使用時間は、OECD加盟国で最下位。
学校外でのICT利用は、学習面ではOECD平均を大きく下回る一方で、学習外ではOECD平均を大きく上回っている。
AI等による科学技術の飛躍的進歩に伴い、データ・AI分野等のリカレント教育の充実。
- (地政学) : 半数以上の市町村(896市町村)が消滅危機にあり、社会インフラの維持が困難化。
離島・過疎地域と都市部とのデジタル・デバイドが問題化。

将来推計人口

(単位:人、%)

			2020年	2030年	2040年	2050年	2060年	対2020年増減数・率
国	社人研	人口	125,324,842	119,125,139	110,918,555	—	—	—
		減少率		▲ 4.95%	▲ 6.89%			
宮城県	社人研	人口	2,333,899	2,227,471	2,046,219	—	—	—
		減少率		▲ 4.56%	▲ 8.14%			
	人口ビジョン	人口	2,289,000	2,172,000	2,033,000	1,876,000	1,721,000	▲ 568,000
		減少率		▲ 5.11%	▲ 6.40%	▲ 7.72%	▲ 8.26%	▲ 24.81%
石巻市	社人研	人口	140,825	118,309	96,913	—	—	—
		減少率		▲ 15.99%	▲ 18.08%			
	人口ビジョン	人口	140,824	125,451	113,284	103,783	94,384	▲ 46,440
		減少率		▲ 10.92%	▲ 9.70%	▲ 8.39%	▲ 9.06%	▲ 32.98%
東松島市	社人研	人口	38,560	35,669	31,821	—	—	—
		減少率		▲ 7.50%	▲ 10.79%			
	人口ビジョン	人口	39,700	37,700	34,700	—	—	—
		減少率		▲ 5.04%	▲ 7.96%			
女川町	社人研	人口	5,747	4,584	3,508	—	—	—
		減少率		▲ 20.24%	▲ 23.47%			
	人口ビジョン	人口	6,232	4,971	3,805	—	—	—
		減少率		▲ 20.23%	▲ 23.46%			

※国立社会保障・人口問題研究所HP「日本の地域別将来推計人口」

※宮城県:宮城の将来ビジョン 石巻市:石巻市人口ビジョン

東松島市:東松島市人口ビジョン第2期総合戦略 女川町:第2期女川町まち・ひと・しごと創生総合戦略

※「—」は非公表。以下同じ。

年齢3区分別の実績及び推計(国・県)

国 (単位:人、%)

	2020	2030	2040	2050	2060	対2020比
年少人口 (0~14)	15,311,558	13,210,000	11,940,000	10,770,000	9,510,000	▲ 5,801,558
構成比	12.1%	11.1%	10.8%	10.6%	10.2%	(▲ 37.9%)
生産年齢人口 (15~64)	74,657,934	68,750,000	59,780,000	52,750,000	47,930,000	▲ 26,727,934
構成比	59.2%	57.7%	53.9%	51.8%	51.6%	(▲ 35.8%)
老年人口 (65歳以上)	36,176,607	37,160,000	39,210,000	38,410,000	35,400,000	▲ 776,607
構成比	28.7%	31.2%	35.3%	37.7%	38.1%	(▲ 2.1%)
合計	126,146,099	119,120,000	110,930,000	101,930,000	92,840,000	▲ 33,306,099
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	(▲ 26.4%)

国勢調査 ← 推計(厚生労働省推移と予測)

※まち・ひと・しごと創生長期ビジョンでは2060年の推計値のみ掲載されていることから、参考として「厚労省年齢三区分別人口及び人口割合の推移と予測」を利用し作成
 ※端数の処理により、各区分の構成比の合計が100%にならない場合があります。

宮城県 (単位:人、%)

	2020	2030	2040	2050	2060	対2020比
年少人口 (0~14)	268,428	238,920	256,158	253,260	234,056	▲ 34,372
構成比	11.9%	11.0%	12.6%	13.5%	13.6%	(▲ 12.8%)
生産年齢人口 (15~64)	1,346,845	1,225,008	1,044,962	909,860	846,732	▲ 500,113
構成比	59.7%	56.4%	51.4%	48.5%	49.2%	(▲ 37.1%)
老年人口 (65歳以上)	638,984	710,244	733,913	711,004	640,212	1,228
構成比	28.3%	32.7%	36.1%	37.9%	37.2%	(0.2%)
合計	2,254,257	2,172,000	2,033,000	1,876,000	1,721,000	▲ 533,257
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	(▲ 23.7%)

国勢調査 ← 推計(新みやぎの将来ビジョン)

※新みやぎの将来ビジョンでは、年齢3区分別は割合のみ掲載されていることから、推計人口に各区分の割合を乗じて算出
 ※端数の処理により、各区分の構成比の合計が100%にならない場合があります。
 ※端数の処理により、人口の合計が合致しない場合があります。

年齢3区分別の実績及び推計(石巻市)

石巻市 (単位:人、%)

	2020	2030	2040	2050	2060	対2020比
年少人口 (0～14)	14,579	13,025	13,542	13,683	12,019	▲ 2,560
構成比	10.6%	10.4%	12.0%	13.2%	12.7%	(▲ 17.6%)
生産年齢人口 (15～64)	76,979	69,207	60,565	52,601	47,142	▲ 29,837
構成比	55.8%	55.2%	53.5%	50.7%	49.9%	(▲ 38.8%)
老年人口 (65歳以上)	46,507	43,218	39,178	37,499	35,223	▲ 11,284
構成比	33.7%	34.5%	34.6%	36.1%	37.3%	(▲ 24.3%)
合計	138,065	125,450	113,285	103,783	94,384	▲ 43,681
構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	(▲ 31.6%)

国勢調査 ← 推計(石巻市人口ビジョン) →

※2020年人口には、年齢不詳を含んでいません。

※端数の処理により、各区分の構成比の合計が100%にならない場合があります。

年齢3区分別の実績及び推計(東松島市・女川町)

東松島市 (単位:人)

	2020	2030	2040	2050	2060
年少人口 (0~14)	4,820	4,081	3,328	—	—
構成比	12.3%	11.2%	10.3%		
生産年齢人口 (15~64)	22,690	20,433	17,156	—	—
構成比	58.0%	56.0%	53.0%		
老年人口 (65歳以上)	11,587	11,955	11,894	—	—
構成比	29.6%	32.8%	36.7%		
合計	39,097	36,469	32,378	—	—
構成比	100.0%	100.0%	100.0%		

国勢調査 ← 推計
(東松島市人口ビジョン第2期総合戦略)

※2020年人口には、年齢不詳を含んでいません。
 ※端数の処理により、各区分の構成比の合計が100%にならない場合があります。

女川町 (単位:人)

	2020	2030	2040	2050	2060
年少人口 (0~14)	521	361	263	—	—
構成比	8.1%	7.3%	6.9%		
生産年齢人口 (15~64)	3,554	2,501	1,708	—	—
構成比	55.5%	50.3%	44.9%		
老年人口 (65歳以上)	2,333	2,109	1,834	—	—
構成比	36.4%	42.4%	48.2%		
合計	6,408	4,971	3,805	—	—
構成比	100.0%	100.0%	100.0%		

国勢調査 ← 推計
(第2期女川町まち・ひと・しごと創生総合戦略)

※2020年人口には、年齢不詳を含んでいません。

合計特殊出生率・人口動態の推移

○合計特殊出生率の推移

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	目標値	目標値	目標値
	(2015)	(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	令和2年 (2020)	令和12年 (2030)	令和22年 (2040)
全国	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.34	1.30	1.80	1.80	2.07
宮城県	1.36	1.34	1.31	1.30	1.23	1.21	1.15	1.60	1.80	2.07
石巻市	1.45	1.28	1.29	1.35	1.25	1.26	1.20	1.60	1.80	2.07

○人口動態の推移(石巻市)

(単位:人)

年	自然動態			社会動態			人口増減 (1)+(2)	婚姻件数	離婚件数
	出生者数	死亡者数	自然増減 (1)	転入	転出	社会増減 (2)			
27	1,039	1,799	▲ 760	4,191	4,507	▲ 316	▲ 1,076	630	261
28	892	1,828	▲ 936	3,987	4,222	▲ 235	▲ 1,171	644	281
29	875	1,850	▲ 975	3,871	4,361	▲ 490	▲ 1,465	589	260
30	882	1,958	▲ 1,076	3,994	4,551	▲ 557	▲ 1,633	543	241
元	788	1,967	▲ 1,179	3,659	4,371	▲ 712	▲ 1,891	541	250
2	743	1,971	▲ 1,228	3,331	3,917	▲ 586	▲ 1,814	417	218
3	716	2,070	▲ 1,354	3,280	4,064	▲ 784	▲ 2,138	376	180
R3-R2比較	▲ 27	99	▲ 126	▲ 51	147	▲ 198	▲ 324	▲ 41	▲ 38

※平成24年7月9日の住基法等の改正により、平成24年分から外国人住民も住民基本台帳に加えられています。

※資料：住民基本台帳に基づく人口移動調査年報、人口動態総覧

人口動態の推移(東松島市・女川町)

○人口動態の推移(東松島市)

(単位:人)

※東松島市ホームページ統計情報より引用。

年	自然動態			社会動態			人口増減 (1)+(2)	婚姻件数	離婚件数
	出生者数	死亡者数	自然増減 (1)	転入	転出	社会増減 (2)			
27	316	418	▲ 102	1,704	1,533	171	69	—	—
28	300	413	▲ 113	1,584	1,473	111	▲ 2	—	—
29	298	404	▲ 106	1,605	1,520	85	▲ 21	—	—
30	295	415	▲ 120	1,487	1,498	▲ 11	▲ 131	—	—
元	245	490	▲ 245	1,402	1,498	▲ 96	▲ 341	—	—
2	245	462	▲ 217	1,347	1,317	30	▲ 187	—	—
3	246	425	▲ 179	1,211	1,316	▲ 105	▲ 284	—	—
R3-R2比較	1	▲ 37	38	▲ 136	▲ 1	▲ 135	▲ 97		

○人口動態の推移(女川町)

(単位:人)

※女川町ホームページ統計情報より引用。

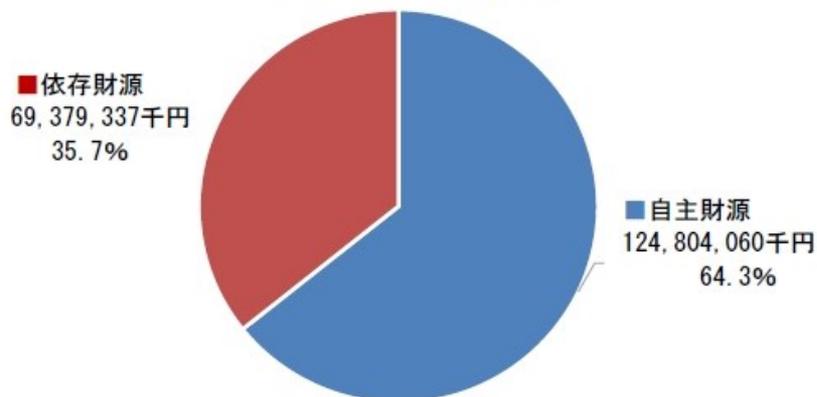
年	自然動態			社会動態			人口増減 (1)+(2)	婚姻件数	離婚件数
	出生者数	死亡者数	自然増減 (1)	転入	転出	社会増減 (2)			
27	46	101	▲ 55	223	433	▲ 210	▲ 265	34	15
28	39	94	▲ 55	269	315	▲ 46	▲ 101	36	6
29	25	88	▲ 63	317	328	▲ 11	▲ 74	35	15
30	35	114	▲ 79	304	329	▲ 25	▲ 104	25	12
元	41	119	▲ 78	285	251	34	▲ 44	25	6
2	34	95	▲ 61	210	328	▲ 118	▲ 179	24	6
3	39	99	▲ 60	235	285	▲ 50	▲ 110	—	—
R3-R2比較	5	4	1	25	▲ 43	68	69		

歳入決算額の推移(普通会計)

(単位：千円、%)

区分	平成17年度		平成22年度		平成26年度		令和2年度		令和3年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
自主財源	26,829,627	38.8%	24,126,013	35.4%	156,915,699	45.4%	150,004,804	58.8%	124,804,060	64.3%
地方税	16,965,536	24.5%	17,190,425	25.2%	16,273,954	4.7%	19,341,416	7.6%	18,800,427	9.7%
うち個人市民税	4,251,237	6.1%	5,372,208	7.9%	5,430,536	1.6%	6,282,894	2.5%	6,239,475	3.2%
うち法人市民税	1,269,711	1.8%	1,096,808	1.6%	1,801,828	0.5%	1,362,899	0.5%	1,193,114	0.6%
うち固定資産税	8,214,449	11.9%	7,809,608	11.5%	6,247,513	1.8%	8,667,059	3.4%	8,238,962	4.2%
その他	9,864,091	14.3%	6,935,588	10.2%	140,641,745	40.7%	130,663,388	51.2%	106,003,633	54.6%
依存財源	42,373,972	61.2%	43,985,721	64.6%	188,892,054	54.6%	105,005,657	41.2%	69,379,337	35.7%
地方交付税	20,775,641	30.0%	21,422,679	31.5%	42,953,408	12.4%	44,214,175	17.3%	20,751,611	10.7%
国庫支出金	6,229,097	9.0%	8,760,738	12.9%	124,834,767	36.1%	38,787,441	15.2%	29,884,141	15.4%
県支出金	4,695,988	6.8%	3,718,563	5.5%	9,988,515	2.9%	8,190,106	3.2%	7,351,705	3.8%
市債	6,198,900	9.0%	7,106,400	10.4%	8,328,640	2.4%	9,440,450	3.7%	6,161,400	3.2%
その他	4,474,346	6.5%	2,977,341	4.4%	2,786,724	0.8%	4,373,485	1.7%	5,230,480	2.7%
合計	69,203,599	100.0%	68,111,734	100.0%	345,807,753	100.0%	255,010,461	100.0%	194,183,397	100.0%

令和3年度歳入決算額内訳



○令和3年度自主財源のうち『その他』の内訳・主なもの

(単位：千円、%)

区分	R3決算額	構成比
繰越金	72,983,956	37.6%
繰入金	26,386,925	13.6%
諸収入	2,855,152	1.5%

○令和3年度依存財源のうち『その他』の内訳・主なもの

(単位：千円、%)

区分	R3決算額	構成比
地方消費税交付金	3,395,861	1.7%
地方譲与税	744,224	0.4%
地方特例交付金	599,629	0.3%

歳出決算額の推移(普通会計)

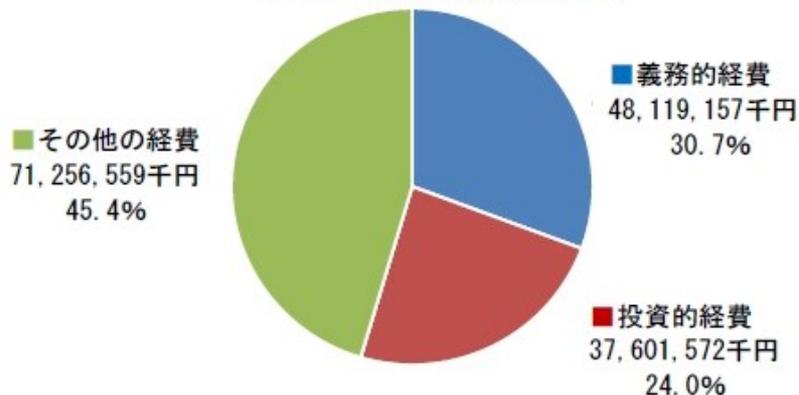
(単位：千円、%)

区 分	平成17年度		平成22年度		平成26年度		令和2年度		令和3年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
義務的経費	29,106,182	42.5%	31,188,533	24.9%	33,004,476	10.9%	30,576,203	17.0%	48,119,157	30.7%
人件費	14,259,932	20.8%	12,015,628	9.6%	11,730,491	3.9%	12,380,799	6.9%	11,608,806	7.4%
扶助費	6,548,507	9.6%	10,040,456	8.0%	10,861,892	3.6%	12,457,028	6.9%	15,575,069	9.9%
公債費	8,297,743	12.1%	9,132,449	7.3%	10,412,093	3.4%	5,738,376	3.2%	20,935,282	13.3%
投資的経費	11,319,751	16.5%	66,135,541	52.9%	115,086,021	38.1%	65,782,216	36.7%	37,601,572	24.0%
普通建設事業	10,528,470	15.4%	7,511,030	6.0%	103,456,194	34.3%	49,754,246	27.7%	31,738,500	20.2%
災害復旧事業	791,281	1.2%	160,215	0.1%	11,629,827	3.9%	16,027,970	8.9%	5,863,072	3.7%
その他の経費	28,083,089	41.0%	27,807,712	22.2%	153,930,783	51.0%	83,002,191	46.3%	71,256,559	45.4%
繰出金	7,058,743	10.3%	7,396,015	5.9%	19,453,224	6.4%	6,027,077	3.4%	6,167,023	3.9%
うち国民健康保険特別会計	1,094,883	1.6%	1,219,018	1.0%	1,589,942	0.5%	1,379,492	0.8%	1,416,946	0.9%
うち介護保険特別会計	1,088,434	1.6%	1,629,854	1.3%	1,952,120	0.6%	2,364,491	1.3%	2,394,055	1.5%
その他	21,024,346	30.7%	20,411,697	16.3%	134,477,559	44.5%	76,975,114	42.9%	65,089,536	41.5%
合 計	68,509,022	100.0%	125,131,786	100.0%	302,021,280	100.0%	179,360,610	100.0%	156,977,288	100.0%

令和3年度歳出決算額内訳

○令和3年度その他の経費のうち『その他』の内訳・主なもの

(単位：千円、%)



区分	R3決算額	構成比
補助費等	41,207,921	26.3%
物件費	12,669,791	8.1%
積立金	8,844,173	5.6%

主要な財政指標

(単位：%)

年 度	平成17年度		平成22年度		平成26年度		令和2年度		令和3年度	
	全国市町村平均	石巻市	全国市町村平均	石巻市	全国市町村平均	石巻市	全国市町村平均	石巻市	全国市町村平均	石巻市
経常収支比率	90.2%	98.5%	89.2%	92.2%	91.3%	96.7%	93.1%	99.8%	—	97.5%
財政力指数	0.52	0.464	0.53	0.497	0.49	0.477	0.51	0.540	—	0.540
実質収支比率	3.5%	1.4%	4.1%	2.7%	4.3%	15.6%	4.7%	14.3%	—	12.5%
経常一般財源比率	—	101.1%	—	91.7%	—	90.9%	—	95.5%	—	97.5%
実質公債費比率	14.8%	16.5%	10.5%	14.9%	8.0%	15.9%	5.7%	9.1%	—	9.5%
自主財源比率	—	38.8%	—	35.4%	—	45.4%	—	58.8%	—	64.3%

※全国市町村平均は、総務省『地方財政の状況』（令和4年3月）より引用。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常的経費に充当した一般財源}}{\text{経常一般財源} + \text{減収補填債特例分} + \text{臨時財政対策債}} \times 100 (\%)$$

経常収支比率とは、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源が、地方税、地方交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいいます。
経常収支比率が高いということは、義務的経費以外に使える財源に余裕がないことを示し、財政構造の弾力性が低いこととなります。

$$\text{財政力指数} = \text{各年度の普通交付税における} \frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}} \text{（3か年平均）}$$

財政力指数とは、地方公共団体の財政力を示す指数です。
財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえます。

$$\text{実質収支比率} = \frac{\text{実質収支額}}{\text{標準財政規模}} \times 100 (\%)$$

実質収支比率とは、標準財政規模に対する実質収支額の割合をいいます。正数の場合は黒字、負数の場合は赤字を意味します。

$$\text{経常一般財源比率} = \frac{\text{経常一般財源決算額}}{\text{標準財政規模（臨時財政対策債発行可能額含む）}} \times 100 (\%)$$

経常一般財源比率とは、標準財政規模に対する経常一般財源（毎年度連続して経常的に収入される財源のうち、その用途が特定されず自由に使用しえる収入）の割合をいいます。
この比率は100を超えるほど経常一般財源に余裕があり、歳入構造に弾力性があるといえます。

$$\text{実質公債比率} = \frac{\text{（地方債の元利償還金＋準元利償還金）} - \text{（特定財源＋元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額）}}{\text{標準財政規模} - \text{（元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額）}} \times 100 (\%) \text{（3か年平均）}$$

実質公債比率とは、借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の程度を指標化したものです。
数値が大きいほど、返済の資金繰りが厳しいことを表します。

$$\text{自主財源比率} = \frac{\text{自主財源}}{\text{歳入決算額}} \times 100 (\%)$$

自主財源比率とは、歳入総額に対する自主財源（地方公共団体が自主的に収入できる財源）の割合を示す指標です。
この割合が大きければ大きいほど、行政の自主性や安定性が確保されます。

総生産額・製造品出荷額等の推移

○総生産額の推移

(単位：百万円、%)

分類	自治体名	合併時	震災前	直近5か年					増減額	増減率
		H17年度	H22年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R1-H22	(R1-H22)/H22
総生産額	国	534,109,700	504,872,100	540,739,400	544,827,200	555,721,900	556,303,700	557,306,500	52,434,400	10.4
	宮城県	8,429,234	7,880,010	9,867,403	9,906,650	9,972,132	10,038,238	9,829,354	1,949,344	24.7
	石巻市	539,399	466,882	628,153	638,703	626,637	622,087	595,677	128,795	27.6

※1、国民経済計算の国内総生産額。

※2、宮城県市町村民経済計算の市町村内総生産額調べ

※3、市町村内総生産額のうち、H17年度はH17年基準、H22年度はH23年基準、H27-R1年度はH27年基準を採用

○製造品出荷額等の推移

(単位：百万円、%)

	合併時	震災前	直近5か年					増減額	増減率
	H16年	H21年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R1-H21	R1-H21/H21
国	295,800,300	314,834,621	313,128,563	302,185,204	319,035,840	331,809,377	322,533,418	7,698,797	2.4
宮城県	3,570,238	3,568,922	4,017,070	4,112,832	4,469,649	4,665,553	4,533,565	964,643	27.0
石巻市	340,198	367,166	336,788	329,351	344,326	347,796	357,117	▲ 10,049	▲ 2.7

※H28は経済センサス調べ、H28以外は工業統計調査調べ

年間商品販売額の推移

○年間商品販売額の推移

(単位：百万円、%)

		H19年	H24年	H26年	H28年	増減額	増減率
						H28-H19	(H28-H19)/H19
卸売業	国	-	340,437,783	-	406,820,294	-	-
	宮城県	8,069,598	6,882,816	7,681,458	8,782,579	712,981	8.8
	石巻市	198,894	69,730	109,385	116,963	▲ 81,931	▲ 41.2
小売業	国	-	110,489,863	-	135,343,693	-	-
	宮城県	2,531,787	2,140,579	2,362,681	2,772,330	240,543	9.5
	石巻市	184,846	170,149	163,222	181,468	▲ 3,378	▲ 1.8

※H19、H26は県の商業統計調査調べ、H24、H28は経済センサス調べ

労働力人口(15歳以上人口)

(単位：人、%)

	平成22年国勢調査				平成27年国勢調査						
	総数	労働力人口	就業者	就業率	総数	増減率	労働力人口	増減率	就業者	増減率	就業率
総数	140,044	78,278	71,623	51.1%	129,266	▲ 7.7%	71,294	▲ 8.9%	67,457	▲ 5.8%	52.2%
男	66,529	45,999	41,409	62.2%	62,509	▲ 6.0%	42,349	▲ 7.9%	39,813	▲ 3.9%	63.7%
女	73,515	32,279	30,214	41.1%	66,757	▲ 9.2%	28,945	▲ 10.3%	27,644	▲ 8.5%	41.4%
15～64歳 総数	96,297	70,645	64,606	67.1%	85,018	▲ 11.7%	62,349	▲ 11.7%	58,895	▲ 8.8%	69.3%
男	48,396	40,835	36,796	76.0%	43,657	▲ 9.8%	36,271	▲ 11.2%	34,066	▲ 7.4%	78.0%
女	47,901	29,810	27,810	58.1%	41,361	▲ 13.7%	26,078	▲ 12.5%	24,829	▲ 10.7%	60.0%
65歳以上 総数	43,747	7,633	7,017	16.0%	44,248	1.1%	8,945	17.2%	8,562	22.0%	19.4%
男	18,133	5,164	4,613	25.4%	18,852	4.0%	6,078	17.7%	5,747	24.6%	30.5%
女	25,614	2,469	2,404	9.4%	25,396	▲ 0.9%	2,867	16.1%	2,815	17.1%	11.1%

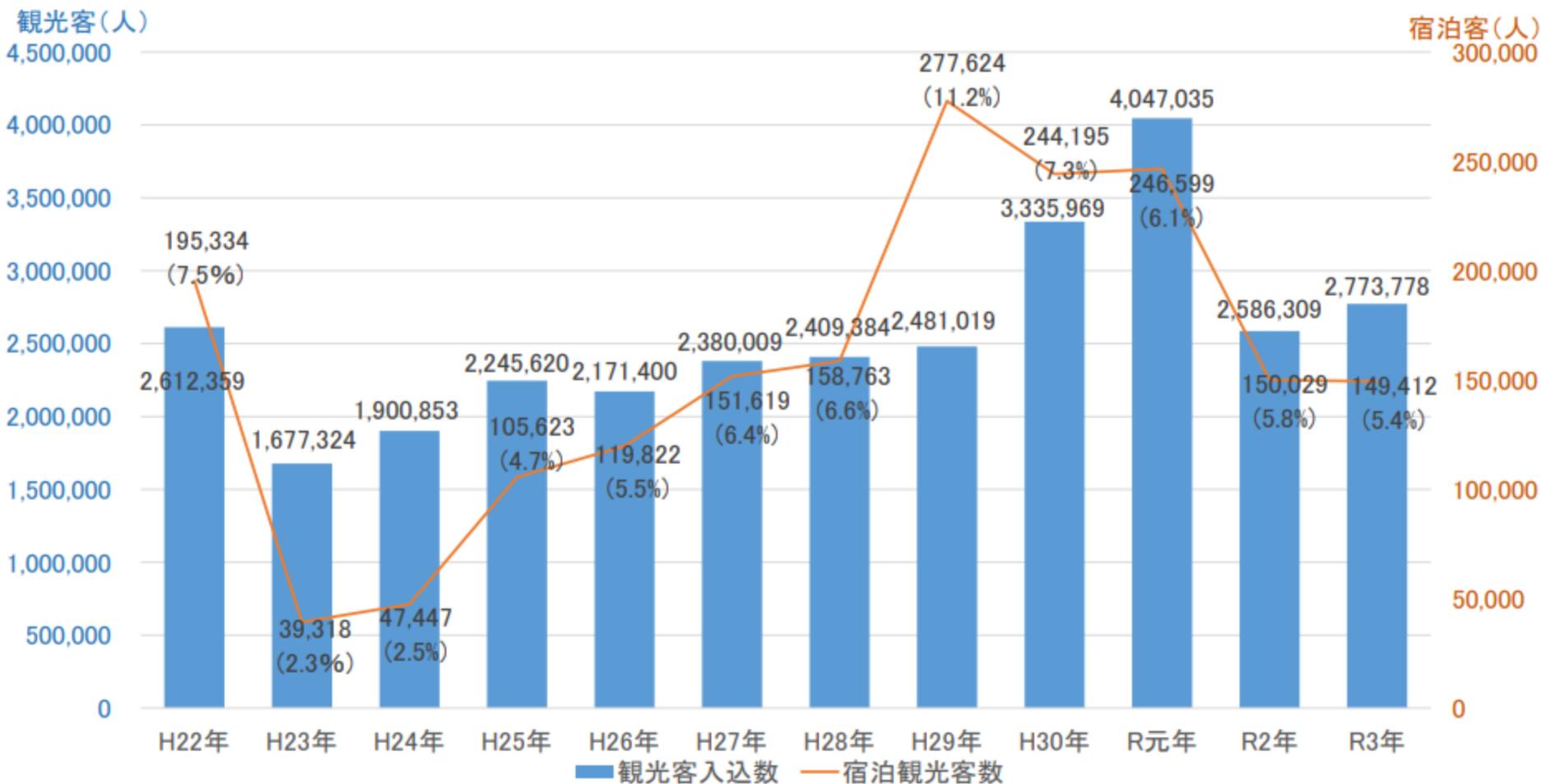
(単位：人、%)

	令和2年国勢調査						
	総数	増減率	労働力人口	増減率	就業者	増減率	就業率
総数	123,486	▲ 4.5%	68,565	▲ 3.8%	65,193	▲ 3.4%	52.8%
男	59,575	▲ 4.7%	39,286	▲ 7.2%	37,065	▲ 6.9%	62.2%
女	63,911	▲ 4.3%	29,279	1.2%	28,128	1.8%	44.0%
15～64歳 総数	76,979	▲ 9.5%	57,475	▲ 7.8%	54,508	▲ 7.4%	70.8%
男	39,552	▲ 9.4%	32,131	▲ 11.4%	30,259	▲ 11.2%	76.5%
女	37,427	▲ 9.5%	25,344	▲ 2.8%	24,249	▲ 2.3%	64.8%
65歳以上 総数	46,507	5.1%	11,090	24.0%	10,685	24.8%	23.0%
男	20,023	6.2%	7,155	17.7%	6,806	18.4%	34.0%
女	26,484	4.3%	3,935	37.3%	3,879	37.8%	14.6%

※平成27年国勢調査の増減率は対平成22年国勢調査比較。

※令和2年国勢調査の増減率は対平成27年国勢調査比較。

観光客入込数・宿泊観光客数の推移



※ () は宿泊観光客数構成比。

平均寿命・健康寿命・不健康な期間

	平均寿命				健康寿命				不健康な期間			
	男	順位	女	順位	男	順位	女	順位	男	順位	女	順位
全国	81.41歳		87.45歳		(72.68歳)		(75.38歳)		(8.73年)		(12.07年)	
宮城県	81.18歳		87.24歳		79.80歳		84.17歳		1.38年		3.07年	
石巻市	80.05歳	30	87.12歳	16	78.82歳	25	84.19歳	8	1.23年	7	2.93年	11
仙台市	81.74歳	4	87.64歳	5	80.47歳	4	84.70歳	3	1.27年	9	2.94年	12
角田市	80.78歳	20	86.46歳	26	79.76歳	11	83.67歳	21	1.02年	4	2.79年	6
東松島市	80.46歳	25	86.36歳	27	79.29歳	21	83.71歳	18	1.17年	6	2.65年	3
富谷市	83.22歳	1	87.79歳	4	81.47歳	2	84.10歳	11	1.75年	32	3.69年	30
蔵王町	79.44歳	34	87.53歳	8	78.09歳	33	84.48歳	4	1.35年	15	3.05年	17
七ヶ宿町	75.43歳	35	86.36歳	28	74.46歳	35	83.63歳	23	0.97年	3	2.73年	4
大河原町	81.31歳	9	86.94歳	19	80.48歳	3	85.11歳	1	0.83年	1	1.83年	1
川崎町	82.02歳	3	87.91歳	2	80.30歳	5	83.73歳	17	1.72年	26	4.18年	34
利府町	83.21歳	2	86.79歳	21	81.75歳	1	83.64歳	22	1.46年	18	3.15年	20
色麻町	80.90歳	17	84.76歳	35	79.46歳	17	81.99歳	34	1.44年	17	2.77年	5
涌谷町	79.50歳	33	86.30歳	29	78.35歳	32	83.27歳	27	1.15年	5	3.03年	16
美里町	81.15歳	13	87.57歳	7	79.89歳	9	85.07歳	2	1.26年	8	2.50年	2
女川町	80.43歳	26	85.78歳	31	79.48歳	15	82.79歳	33	0.95年	2	2.99年	13
南三陸町	80.06歳	29	87.49歳	9	78.79歳	27	84.46歳	5	1.27年	10	3.03年	15

※国の健康寿命、不健康な期間は算出方法が異なり、参考値です。

○男性

- 平均寿命は県平均（81.18歳）を下回る80.05歳、県内30位
- 健康寿命も県平均（79.80歳）を下回る78.82歳、県内25位
- 不健康な期間は県平均（1.38年）を下回る1.23年、県内7位

○女性

- 平均寿命は県平均（87.24歳）を下回る87.12歳、県内16位
- 健康寿命は県平均（84.17歳）を上回る84.19歳、県内8位
- 不健康な期間は県平均（3.07年）を下回る2.93年、県内11位

国民健康保険等給付費の推移

国保特別会計の財源負担

(単位:円)

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
歳出総額 ①	21,284,156,777	22,949,605,516	20,725,991,623	19,901,147,297	21,852,978,229	20,870,680,955
うち給付費 ②	15,508,481,873	16,139,388,480	13,173,847,490	13,500,864,972	13,531,248,433	13,010,841,359
被保険者数 各年度平均 (人) ③	53,450	50,010	46,926	44,518	41,759	38,983
1人当たり費用 ④(①/③)	398,207	458,900	441,674	447,036	523,312	535,379
石巻市の負担 ⑤ (一般会計繰入金のうち一般財源相当額)	474,763,035	603,163,500	593,739,250	676,883,140	739,972,971	648,109,848

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	R3-H24増減額
歳出総額 ①	19,825,635,873	17,053,981,825	16,109,425,823	15,705,793,723	15,729,777,340	▲ 7,219,828,176
うち給付費 ②	12,815,979,454	11,857,145,805	11,432,393,333	11,464,543,543	11,604,734,894	▲ 4,534,653,586
被保険者数 各年度平均 (人) ③	36,079	34,197	32,666	32,022	31,427	▲ 18,583
1人当たり費用 ④(①/③)	549,506	498,698	493,156	490,469	500,518	41,618
石巻市の負担 ⑤ (一般会計繰入金のうち一般財源相当額)	539,692,812	523,593,599	639,321,597	554,013,383	598,183,599	▲ 4,979,901

※国民健康保険事業においては、保険給付費(平成30年度以降は事業費納付金)に対する財源充当内訳が必ずしも明確でないことから特別会計全体に対する一般財源を石巻市の負担とした。

後期高齢者医療費の財源負担

(単位:円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
医療費総額 ①	16,464,782,000	17,758,320,000	17,968,167,000	18,100,441,000	19,238,977,000	19,541,089,000
被保険者数 各年度平均 (人) ②	21,275	21,682	22,093	22,300	22,736	23,270
1人当たり費用 ③(①/②)	773,903	819,035	813,297	811,679	846,190	839,755
石巻市の負担 ④ (市町村療養給付費負担金) 国4/12、県1/12、市1/12	1,461,315,502	1,479,934,626	1,598,150,932	1,514,281,938	1,508,972,849	1,591,753,028

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	R2-H23増減額
医療費総額 ①	20,425,840,000	20,417,501,000	20,780,393,000	20,156,822,000		3,692,040,000
被保険者数 各年度平均 (人) ②	23,736	24,102	24,322	24,274	24,066	2,999
1人当たり費用 ③(①/②)	860,543	847,129	854,387	830,387		56,484
石巻市の負担 ④ (市町村療養給付費負担金) 国4/12、県1/12、市1/12	1,533,446,513	1,602,880,345	1,565,558,989	1,570,660,176	1,603,122,638	109,344,674

※後期高齢者医療は、保険給付費の支払を後期高齢者医療広域連合が行うため、事業の総額が把握出来ない事から、医療費総額に対する市町村負担金を石巻市の負担とした。
※令和3年度の空白データは、令和5年1月に県が公表する。

介護保険給付の財源負担

(単位:円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
保険給付費 (a)	9,733,060,527	11,189,463,627	11,276,355,389	11,963,018,288	12,112,890,454	11,952,151,996
65歳以上高齢者数 各年度末時点 (人)	40,712	41,844	42,907	43,979	44,993	45,704
1人当たり介護給付費	239,071	267,409	262,809	272,017	269,217	261,512
石巻市の負担 (a) × 12.5%	1,216,632,566	1,398,682,953	1,409,544,424	1,495,377,286	1,514,111,307	1,494,019,000

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	R3-H24増減額
保険給付費 (a)	12,306,388,762	12,261,131,080	12,596,714,454	13,010,496,708	13,061,731,055	1,872,267,428
65歳以上高齢者数 各年度末時点 (人)	46,300	46,622	46,821	47,060	47,006	5,162
1人当たり介護給付費	265,797	262,990	269,040	276,466	277,874	10,465
石巻市の負担 (a) × 12.5%	1,538,298,595	1,532,641,385	1,574,589,307	1,626,312,089	1,632,716,382	234,033,429

子ども医療費（扶助費）の財源負担

(単位:円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
扶助費総額 ①	205,918,855	247,721,036	344,343,501	361,912,911	352,019,914	354,277,220
受給者数 各年度末 (人) ②	11,340	13,581	16,230	15,848	15,217	17,265
1人当たり費用 ③ (①/②)	18,159	18,240	21,216	22,837	23,133	20,520
石巻市の負担 一般財源 ④	127,567,855	152,547,036	239,959,501	261,562,911	250,089,914	255,854,220

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	R3-H24増減額
扶助費総額 ①	403,695,837	463,430,691	466,169,066	349,553,787	393,517,522	145,796,486
受給者数 各年度末 (人) ②	17,069	16,554	16,164	15,630	15,194	1,613
1人当たり費用 ③ (①/②)	23,651	27,995	28,840	22,364	25,900	7,660
石巻市の負担 一般財源 ④	257,636,837	313,929,691	321,296,066	227,719,787	267,243,299	114,696,263

全国学力・学習状況調査結果

1 正答率一覧(単位%) (「正答率」は、満点を100点としたときの「点数」と同じです。)

校種	教科	年度	①	②	③	全国との差 ③-①	標準化得点	宮城県との差 ③-②
			全国 ※公立	宮城県 (仙台市を除く)	石巻市			
小学校	国語	R4	66	62	62	▲ 4	98	0
		R3	65	62	60	▲ 5	98	▲ 2
	算数	R4	63	58	57	▲ 6	97	▲ 1
		R3	70	66	64	▲ 6	97	▲ 2
	理科	R4	63	60	59	▲ 4	98	▲ 1
		H30	60	57	55	▲ 5	98	▲ 2
中学校	国語	R4	69	68	66	▲ 3	99	▲ 2
		R3	65	63	63	▲ 2	99	0
	数学	R4	51	45	44	▲ 7	97	▲ 1
		R3	57	52	50	▲ 7	97	▲ 2
	理科	R4	49	47	45	▲ 4	98	▲ 2
		H30	66	64	62	▲ 4	99	▲ 2

注1) 全国、県共に公立学校の平均です。

注2) 県平均、石巻市平均は、整数値で示されており、全国平均の数値は、少数第1位を四捨五入したものです。

注3) 標準化得点とは、各年度における全国の平均正答率がそれぞれ100となるように標準化した場合の石巻市の得点です。

2 その他調査(児童生徒質問紙調査)(単位%)

校種	質問項目	年度	①	②	③	全国との差 ③-①	宮城県との差 ③-②
			全国 ※公立	宮城県	石巻市		
小学校	夢や希望	R4	79.8	79.1	81.8	2.0	2.7
		R3	80.3	80.0	82.4	2.1	2.4
	ゲーム時間 (3時間以上)	R4	30.7	30.8	34.3	3.6	3.5
		R3	29.0	30.3	34.6	5.6	4.3
	地域参画	R4	52.7	56.4	54.5	1.8	▲ 1.9
		R3	58.1	62.0	62.7	4.6	0.7
中学校	夢や希望	R4	67.3	68.7	70.1	2.8	1.4
		R3	68.6	69.6	68.7	0.1	▲ 0.9
	ゲーム時間 (3時間以上)	R4	29.8	27.1	32.2	2.4	5.1
		R3	32.3	29.6	41.3	9.0	11.7
	地域参画	R4	40.0	40.1	43.9	3.9	3.8
		R3	43.7	45.3	46.8	3.1	1.5

=全国・県より数値が高い

注1) 質問項目の内容については以下のとおりです。

「夢や希望」: 将来の目標や夢をもっているか。

「ゲーム時間」: 普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)をするか。

「地域参画」: 今住んでいる地域行事に参加しているか。

注2) 回答は、「そう思う」「ややそう思う」という肯定的な回答の合計です。ゲームについては「3時間以上」と回答した数値になります。

石巻市データパック

(都市データパック)

	2019		2020		2021		2022	
	データ	順位	データ	順位	データ	順位	データ	順位
住みよさランキング	49.25	502	48.18	661	48.36	645	49.05	532
安心度		436		513		486		367
利便度		453		419		395		396
快適度		251		574		577		570
富裕度		641		505		476		469
財政健全度	53.77	138	54.01	126	52.94	178	53.60	137
収支		9		11		3		5
弾力性		36		40		133		40
財政力		484		474		466		466
財政基盤		453		477		508		522
将来負担		243		207		254		292
面積・気象（平均値）								
面積[km ²]	554.59	117	554.55	117	554.55	117	554.55	117
可住地面積[km ²]	240.90	61	240.84	61	240.88	61	244.12	56
年平均気温[°C]	11.80	704	11.80	704	11.80	704	12.00	708
日照時間[時間]	1,929	278	1,929	278	1,929	278	1,924	456

※全国の市と特別区（東京23区[千代田区、中央区、港区を除く]）812市区が対象

※算出に当たり使用している統計データの年度が定められているため、本市が示している統計データと数値が異なる年（年度）がある

石巻市データパック

(都市データパック)

	2019		2020		2021		2022	
	データ	順位	データ	順位	データ	順位	データ	順位
人口・世帯								
合計特殊出生率	1.37	545	1.37	545	1.42	525	1.42	525
財政・行政								
歳出総額[億円]	1,902.70	30	2,081.90	22	2,111.90	24	1,793.60	61
同 1人当たり[万円]	130.20	6	144.00	3	148.10	3	127.40	9
地方税収額[億円]	180.70	206	188.60	199	195.80	196	193.40	197
同 増減率(前年比)	2.50	150	4.40	59	3.80	45	▲1.2	452
同 1人当たり[万円]	12.40	478	13.00	438	13.70	397	13.70	383
経常収支比率[%]	99.70	34	99.90	756	102.20	779	99.80	767
実質公債費率[%]	10.30	202	9.50	556	9.30	552	9.10	559
将来負担比率[%]	7.10	546	0.00	1	0.00	1	0.80	246
財政力指数	0.52	496	0.53	494	0.54	482	0.54	485
自主財源比率[%]	59.30	108	52.30	230	46.90	328	58.80	6
交付税依存度[%]	13.80	492	15.20	460	19.30	403	17.30	465
地方債残高[億円]	770.30	100	773.20	97	802.60	93	842.20	91
同 1人当たり[万円]	52.70	270	53.50	270	56.30	249	59.80	214
職員数[人]	1,924	123	1,903	128	1,855	135	1,739	143
ラスパイレス指数	97.20	621	97.00	631	97.40	588	96.20	694
産業								
農業産出額[億円]	152.20	120	153.40	110	153.40	110	145.90	120
卸売業年間販売額[億円]	1,169.60	243	1,169.60	243	1,169.60	243	1,169.60	243
小売業年間販売額[億円]	1,814.70	162	1,814.70	162	1,814.70	162	1,814.70	162
建設								
新設住宅着工戸数[戸]	2,079	103	1,069	191	729	248	662	243

※全国の市と特別区(東京23区[千代田区、中央区、港区を除く])812市区が対象

※算出に当たり使用している統計データの年度が定められているため、本市が示している統計データと数値が異なる年(年度)がある

石巻市データパック

(都市データパック)

	2019		2020		2021		2022	
	データ	順位	データ	順位	データ	順位	データ	順位
所得・住宅・自動車								
納税義務者1人当たり所得[万円]	290.00	425	288.20	461	284.30	494	291.60	513
医療・福祉・環境・安全								
1万人当たり病床数[床]	118.10	460	119.30	453	120.00	444	121.60	433
1万人当たり医師数[人]	21.10	278	21.40	287	21.40	287	21.90	305
介護老人施設定員数[人]	1,494	105	1,494	105	1,574	104	1,594	103
介護保険料[円]	5,900	334	5,900	454	5,900	402	5,900	402
汚水処理人口普及率[%]	80.00	525	81.00	524	84.40	481	87.20	447
水道料金(1か月)[円]	4,644	168	4,730	643	4,730	640	4,730	638
下水道使用料(1か月)[円]	4,352	85	4,433	696	4,433	696	4,433	695
1人当たり都市公園面積[m ²]	12.30	306	12.10	316	12.10	321	11.80	336
千人当たり刑法犯認知件数[件]	5.89	359	5.84	537	5.45	535	4.71	564
千人当たり交通事故件数[件]	3.05	435	3.11	490	2.40	391	1.90	371
子育て関連								
子ども医療費助成(通院・入院)	15歳年度末まで所得制限なし		15歳年度末まで所得制限なし		15歳年度末まで所得制限なし		18歳年度末まで所得制限なし	
待機児童数[人]	52		45		43		27	

※全国の市と特別区(東京23区[千代田区、中央区、港区を除く])812市区が対象

※算出に当たり使用している統計データの年度が定められているため、本市が示している統計データと数値が異なる年(年度)がある

石巻市データパック

(都市データパック)

都市データパックについて

「データで”まちのすがた”を解き明かす」をコンセプトに、株式会社東洋経済新報社が1993年から毎年「住みよさランキング」を公表発行している。

■ランキングの対象

各年6月時点で全国にある市と特別区（東京23区）が対象。特別区のうち、千代田区、中央区、港区の3区は対象から除外されており、812市区が対象とされている。

なお、一部、全国市町村ランキングが示されているが、こちらも各年6月時点で全国にある1,718市町村が対象とされている。

■算出指標

「安心度」、「利便度」、「快適度」、「富裕度」の4つの視点から、20のデータを用いて算出。

■算出方法

各指標について、平均値を50とする偏差値を算出。すべての指標の偏差値を平均したものを「総合評価」とされている。偏差値は、特異数値による過度の影響を避けるため、各指標の最高を70、最低を30に調整。

また、財政力指数、人口当たり法人市民税は特別区を除外して算出されている。

■住みよさランキングの算出指標

【安心度】	
①人口当たり病院・一般診療所病床数	厚生労働省「医療施設調査」
②老年人口当たり介護老人福祉・保健施設定員数	厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」
③20～39歳女性人口当たり0～4歳児数	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
④子ども医療費助成（対象年齢・所得制限の有無）	東洋経済調べ
⑤人口当たり刑法犯認知件数	各都道府県警察調べ
⑥人口当たり交通事故件数	交通事故総合分析センター調べ
【利便度】	
⑦人口当たり小売販売額	総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」
⑧人口当たり大規模小売店舗面積	東洋経済「全国大型小売店総覧」
⑨可住地面積当たり飲食料点小売事業所数	総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」
⑩人口当たり飲食店数	総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」
【快適度】	
⑪転出入人口比率	総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
⑫水道料金	東洋経済調べ
⑬污水处理人口普及率	国土交通省、農林水産省、環境省調べ
⑭気候（月平均最高・最低気温、日照時間、最深積雪）	気象庁「メッシュ平均値データ」
⑮都市計画区域人口当たり都市公面積	国土交通省「都市公園整備水準調書」
【富裕度】	
⑯財政力指数	総務省「市町村別決算状況調」
⑰人口当たり法人市民税	総務省「市町村別決算状況調」
⑱納税義務者1人当たり所得	総務省「市町村別課税状況等の調」
⑲1住宅当たり延べ床面積	総務省「住宅・土地統計調査」
⑳住宅地平均地価	国土交通省「都道府県地価調査」

世界幸福度ランキング

日本は先進国で最下位・・・金はある健康、不寛容で汚職が多い

総合順位	国	総合幸福度	一人当たりGDP	社会的支援	健康寿命	人生選択の自由度	寛容さ	腐敗の認識
1	フィンランド	7.769	1.340	1.587	0.986	0.596	0.153	0.393
2	デンマーク	7.600	1.383	1.573	0.996	0.592	0.252	0.410
3	ノルウェー	7.554	1.488	1.582	1.028	0.603	0.271	0.341
4	アイスランド	7.494	1.380	1.624	1.026	0.591	0.354	0.118
5	オランダ	7.488	1.396	1.522	0.999	0.557	0.322	0.298
6	スイス	7.480	1.452	1.526	1.052	0.572	0.263	0.343
7	スウェーデン	7.343	1.387	1.487	1.009	0.574	0.267	0.373
8	ニュージーランド	7.307	1.303	1.557	1.026	0.585	0.330	0.380
9	カナダ	7.278	1.365	1.505	1.039	0.584	0.285	0.308
10	オーストリア	7.246	1.376	1.475	1.016	0.532	0.244	0.226

15	イギリス	7.054	1.333	1.538	0.996	0.450	0.348	0.278
17	ドイツ	6.985	1.373	1.454	0.987	0.495	0.261	0.265
19	アメリカ	6.892	1.433	1.457	0.874	0.454	0.280	0.128
24	フランス	6.592	1.324	1.472	1.045	0.436	0.111	0.183
58	日本	5.886	1.327	1.419	1.088	0.445	0.069	0.140
68	ロシア	5.648	1.183	1.452	0.726	0.334	0.082	0.031
93	中国	5.191	1.029	1.125	0.893	0.521	0.058	0.100

(SDSN. 2019)

外国人が証言する暮らしやすい日本

- **治安** : **子供が自由に街を歩けるニッポンの不思議**
個人の判断に任せると悪化する問題を、地域で解決。
通学時間帯の学校周辺・住宅街の厳しい速度制限、集団登下校など。
- **医療** : **平等・最新・丁寧な世界一の保険診療**
「かかりつけ医」普及は必要だと思うが、これほど贅沢で手厚い制度はほかにない。
- **食文化** : **発想力こそ日本食の神髄**
コーヒーからタコ料理、和菓子、サイゼリアまで組み合わせや工夫が詰まった味が、外国人にも優しい。
- **物価** : **世界が「安っ」と驚く国**
安くて便利、クオリティも高いデフレ・ジャパン、「暮らしの付加価値」も保たれていて最高。
対価としての「賃金アップ」が出来ていないのが残念。
- **教育** : **食育に体育に茶道、世界に誇る教養教育**
小手先のエリート教育よりも、基礎と人格形成の重視が日本の品格をつくる。
- **住環境** : **小さな空間を最大・最長に生かす美学**
狭小空間に息づく、江戸由来の知恵に心を奪われる。
- **多様性** : **「余裕」から生まれる放任のありがたさ**
少数派の暮らしやすさには、経済だけでなく考え方にも”ゆとり”が必要
- **趣味** : **包容力にあふれたオタク天国**
居心地のいいアニメの母国で、女一人の聖地巡礼も昔の作品も満喫
- **障害者支援** : **目の見えない私が見る社会**
デジタル化の遅れなどの障壁はまだあるが、世界屈指の「外出しやすい環境」がこの国には整っている
- **交通** : **米大使が太鼓判、日本の鉄道は世界最高**
利用者に優しく、時間に正確、日本の公共交通システムは「ゴールド」級

安くて居心地の良い日本は、企業や政府、国民一人ひとりの努力と工夫、我慢から成り立っている。

本来は、「賃金アップ」という謝礼で報われるはず。

実質賃金が上がらないと、世界に対する購買力も上がらない。輸入品も海外旅行も企業の海外進出もますます高くなる。

優秀な人材を日本に招き入れることも難しくなる。

満足度・生活の質に関する調査

- 生活満足度は、男性に比べて**女性**。年齢階層別では、**40-64歳の層**。地域別では**東京圏**で高い水準。
- 生活満足度には、「**生活の楽しさ・面白さ**」、「**家計と資産**」、「**仕事と生活**」満足度の影響が大きい。

生活満足度 (総合的な満足度)

家計と資産の満足度

雇用環境と賃金の満足度

住宅の満足度

仕事と生活の満足度

健康状態の満足度

自身の教育水準・教育環境の満足度

社会とのつながりの満足度

政治・行政・裁判所の満足度

自然環境の満足度

身の回りの安全の満足度

子育てのしやすさの満足度

介護のしやすさ・されやすさの満足度

生活の楽しさ・面白さの満足度

3割近く(29.3%)の人の生活満足度が低下したが、上昇した人の割合(32.3%)の方が大きい。

SNSの利用頻度、交流人数が多くなっても満足度は比例的には高まらず、実際に頼れる人がいない、友人との直接の交流がない場合に「社会とのつながり」満足度は低い。

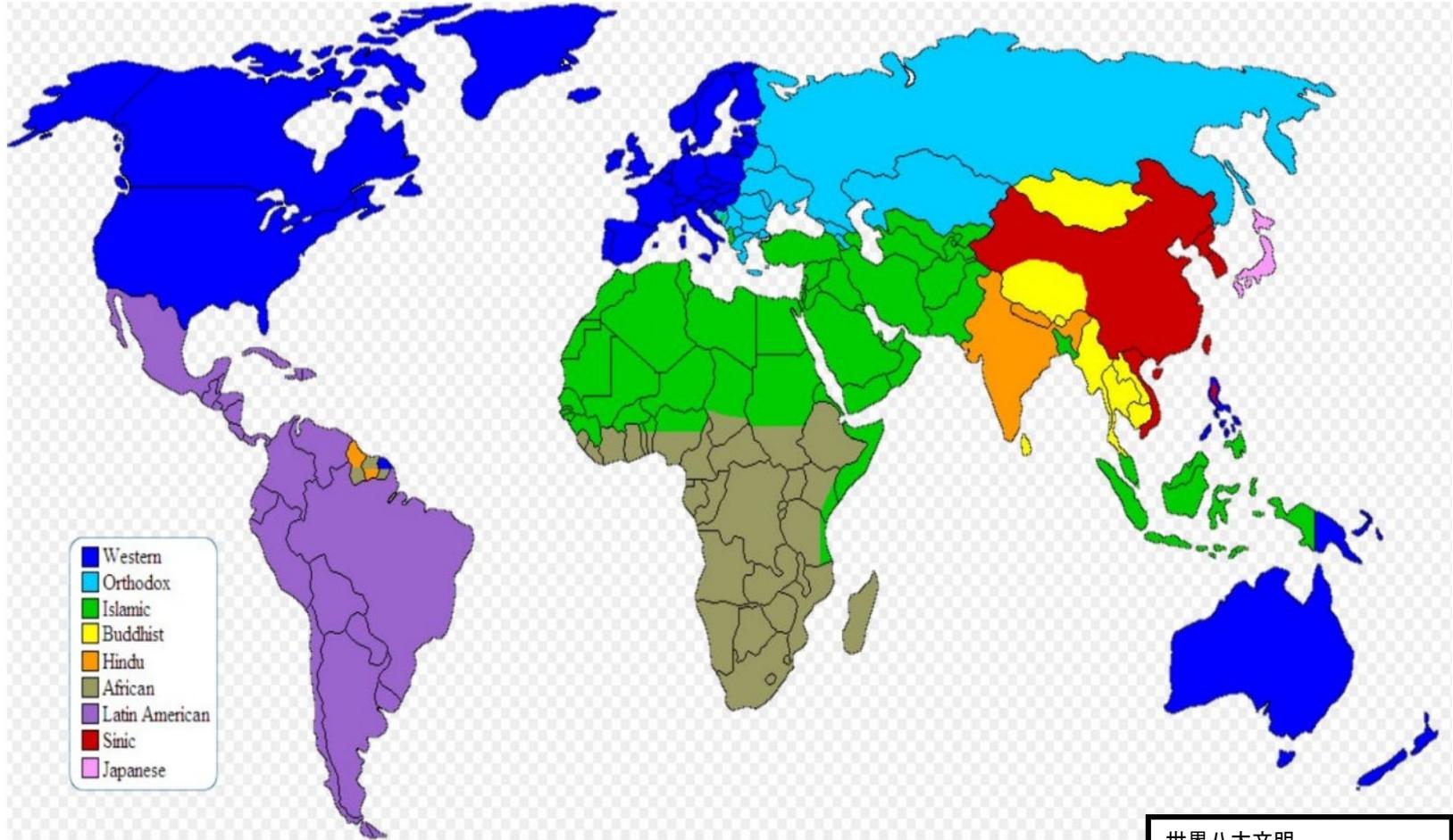
趣味や生きがいがある人では精神的なストレスを受けない割合が高く、ストレスを受けていない人は生活満足度が高く、ストレスを強く受けている人は、生活満足度が低い傾向。

夫婦ともに育児休業を取得した場合、特に女性で楽しさを感じる割合は高く、「仕事と生活」満足度も高い。

雇用形態(正規・非正規)に関わらず、労働時間が長いほど雇用・賃金満足度が低下。

(2022 内閣府)

世界八大文明



「文明の衝突」の著者でもあるアメリカの国際政治学者サミュエル・ハンチントンは、世界を次の**八つの文明圏**に分けている。

その一つとして、日本文明を「一国で成立する、主観的な自己認識を持つ孤立文明」と取り上げており、ほかにも、フィリップ・バグビーの世界九大文明論にも、マシュー・メルコの五大文明論にも、日本文明が列挙されている。

いずれにしても、日本文明は、他文明とは共通するものが少なく、極めて独自性の高い特殊な民族文化に由来するものであると定義されている。

世界八大文明

- 「西欧文明」
- 「ラテンアメリカ文明」
- 「アフリカ文明」
- 「中華文明」
- 「ヒンドゥー文明」
- 「東方正教会文明」
- 「イスラム文明」
- 「**日本文明**」